RID2760 THE ROTARY CLUB OF NAGOYA IRIS

WeeklyReport

名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会　長	島村恵三
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹　事	加藤正広
承　認	2013年6月18日	公共イメージ向上	藤谷　猛

2022～2023年度 国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一歩を踏み出し、
１０年後のアイリスを創造し、
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp　●公式ＷＥＢサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第 447 回 例会

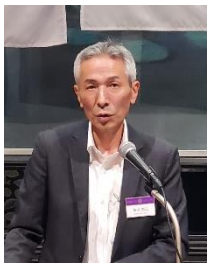
2023 年 6 月 14 日 13:00～

■司　　会　澤田直美 例会・出席・親睦委員
■斉　　唱　我らの生業
■出席報告　出席者数　12 名 / 26 名
　　出 席 率　46.2 %
■ゲ ス ト　ラウト・ニラムさん（米山奨学生）
■ビジター

ニコボックス

○ 島村恵三 会長
あと少し、ゴールは目前！
○ 加藤正広 幹事
本日の卓話、各委員長宜しくお願い致します。
○ 安井忠 ロータリー財団委員長
久留宮さんにご無理なお願いをしております。

会 長 挨 拶



みなさん、こんにちは。

前回、物流業界における 2024 年問題のお話をさせて頂きましたが、本日はトラック運送業の現状についてお話しさせて頂きます。

現在トラック運送業者は国内で約 6 万 5 千社ほどあります。日本国内で一番多い業種は卸売・小売業で 84 万社、次に宿泊・飲食業で 51 万社、そして建設業 43 万社、製造業 38 万社、生活関連・サービス娯楽業が 37 万社となっております。それではトラック運送業 6 万 5 千社のうち大手は 10%程でありトラック保有台数宇 10 台以下の法人が約 50%と半数を占めております。1990 年には 4 万社だったのが、この 30 数年で約 1.5 倍に増えました。これは 1990 年に物流 2 法が改正され新規参入が容易になった為です。1990 年以前は免許制だったのが許可制に変わり最低車両台数も 5 台からに緩和されました。それにより需求バランスが崩れ価格競争が起こり、ドライバー不足になり、しわ寄せがドライバーの過重労働となりました。

これを是正する為、2024 年 4 月からドライバーの時間外労働の上限が制限されるようになります。このままでは、3 割の貨物が配達できなくなると言われています。政府は有識者会議を開催し対応を検討しているようです。大型トラックのスピードの緩和、80 kmを 100 kmへ上げたり、高速道路の夜間割引の見直し、宅配便では再配達の削減、送料無料の表現の見直し等、いろいろ考えてはいますが効果の程は、正直わかりません。2024 年問題は、みなさんにも直接影響を及ぼす問題です。

どうか興味を持って、今後を注視していただければと思います。

幹事報告

皆さんこんにちは、本日の卓話は、各委員長の本年度委員会報告です、宜しくお願い致します。翌 6 月 21 日の卓話は、島村会長と私幹事の加藤が今年度を振り返ってお礼のご挨拶をさせて頂きます。それと第 4 回予定者理事会を、来週の 21 日に行います。次年度理事役員の方は宜しくお願い致します。

そして、本年度最後の例会は、ここ ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋にて打上げ夜間例会です。思いっきりはじけたいと思います。

以上、本日の幹事報告でした、有難う御座います。

委員会報告

6 月も半ばとなり例会は残りあと 2 回となりました。今年度は 10 周年記念式典もあり特別な一年でした。委員会活動と 10 周年の準備で皆さんご苦労された事と思います。多忙な中での委員会活動でしたが、各委員長さんから本年度の委員会報告をして頂きました。

【クラブ管理運営（会場監督】　久留宮恭 委員長

①例会運営委員と共に、楽しい中にも秩序正しく、気品と風紀を守った例会が、円滑に運営されるよう務める。→卓話の時間が短くなってしまい、菊池さんからのご指導をいただきました。

②例会運営委員と共に、例会開始5分前に会員の円滑な入場を促す→皆様、お時間通りにお席に着席いただき、時間通りに例会は遂行されました。

③例会運営委員と連携し、スピーチ中の私語など、例会中のマナー違反があれば注意する。→皆様マナーも良く、和やかに例会は進められました

④10周年特別委員会と連携し、式典をスムーズに開催できるよう努める。→荒山さんをはじめ皆様と一緒に「アイリスらしさ」を常に頭に思いながら、お花の装飾やデザートにもアイリスをあしらいました。

【例会運営・出席親睦】　荒山久美 委員長

1 年間、会員の皆様の例会出席、誠にありがとうございました。ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋のスタッフの皆様の協力のもと無事に今年度を終了できそうでホッとしております。

事業報告を簡単に述べさせていただきます。先ず、コロナ禍では出来なかった年 4 回の親睦夜間例会と年末の家族例会を全て開催することが出来ました。クラブ規模は小さいですが、それなりに楽しい例会になったと思っています。

上半期においては、新しく入会された会員の皆様方の自己紹介を兼ねた卓話、水野名誉会員による『希望の風奨学金』についての卓話、10 月、11 月の米山月間と財団月間には地区からの委員による卓話も実施しました。ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋のバックヤードツアーは特に珍しいイベントでして、私は欠席でしたが・・楽しかったと聞いております。

下半期については、『たん熊』の新年夜間例会が悪天候で中止になりましたが、翌月振り替えすることが出来ました。IM、ワールドフードふれ愛フェスタ、6RC 合同、3RC 合同例会など変則例会が多くあり、10 周年式典を控えている当クラブにとっては「リハーサルやりたいのに・・・！」と、運営委員長としては文句のひとつもいってやりたかったのですが、今年度に関しては卓話者を探す手間が省けたことは正直助かりました。

10 周年式典・祝賀会については皆様の協力なくしては成功に導けなかったと今も思っております。例会開催時の 2 度のリハーサルに加え、島村会長、加藤幹事、長谷川副幹事、岩崎さん、生田さん、久留宮さんなど式典前日まで何度も集まり修正を重ねました。学生時代に文化祭の出し物の用意をする時みたいで忙しい中にも楽しんでいる自分がいました。式典・祝賀会当日にはほぼ全会員に集合していただき、文字通り「一致団結」して各々の役割を果たし無事に終えることが出来ました。例会から遠のいている会員の皆様もこの日はしっかり仲間意識を全面に出していただき、「やるべき時はしっかりやるアイリス」として将来についても少し安心したところです。

次年度も引き続きこのお役目をいただく予定です。今年度よりは多くの卓話者の選定、イベントなどを企画しないといけませんので頑張りたいと思います。

【公共イメージ向上・クラブ戦略】　藤谷　猛 委員長

一年間、皆様本当にありがとうございました。

公共イメージの大きな目標は外部に対してアイリスロータリークラブのイメージづくりに努めたり、クラブ活動を世間に伝える事が大きな役目でした。今年度は10周年の記念式典がありました。クラブ員全員が協力して、この大きな節目に挑みましたが、それにより皆さんの結束はさらに強いものとなり素晴らしい式典となりました。

これまでアイリスは新しく経験も少ない中で古参のクラブからは何かと小言を頂く事が多かったように思います。しかし、この記念式典を通して各クラブがアイリスの見方を大きく変えたように思います。女性と男性の比率も良く本当に楽しいクラブであり羨ましい。また、名古屋大学附属病院の小児がん患者様への一貫した継続事業はすばらしい。などガバナーや多くの会長さまからお褒めの言葉を頂きました。

結果的に、みなさんで創り上げた10周年記念式典が最大の公共イメージとなました。そして皆さんの結束がさらに強くなった事は次年度からのクラブ戦略に大きな方向性を見出す機会にもなりました。皆さん本当にありがとうございました。特にご苦労頂きました荒山10周年特別委員長、加藤幹事、長谷川副幹事には心からお礼を申し上げます。

【奉仕プロジェクト（青少年）】 深見和久 委員長

今年度、奉仕プロジェクト委員長を務めさせて頂きました、深見です。委員会の活動報告をさせて頂きます。今年度の名城ローターアクトクラブの活動テーマは、「成幸を望むすべての人々にそのチャンスを提供する」でした。成功の「こう」は、「幸せ」という漢字です。アクトメンバーは、与える人や団体となり、成幸を望む全ての人にチャンスを与え続けると共に、「与える」ために何をすればいいのかを「学ぶ」場を名城ローターアクトクラブの会員に提供したいという想いからのテーマでした。そのテーマを具現化する代表的な例会の一つが 12 月の「花束を送ろう」例会でした。この例会では、自分が一番感謝している人へ、その人へ感じる花言葉イメージして、花束の絵を描き、後日それを送ろう！という例会でした。私は後日妻へ、練りに練った花束を贈り、喜ばれるよりは驚かれましたが、「何かやましいことでもあるの？」と聞かれて「純粋な気持ちの発露です」と答え、より夫婦円満になったような錯覚を覚えました。

さて、現在アクトは男性のみ 7 名のメンバーで、委員会も兼務して、頑張って運営している状況です。少数ではありますが、若くして自ら起業した方もして数名いて、皆さん大変しっかりしています。次年度は、千種RCさんが提唱クラブから抜けることが確定している一方で、4 名のアクトメンバー増員が決まっています。これまでの委員会は、合同委員会、合同例会を中心にした活動でしたが、 次年度からは、ローターアクトの例会を主体的に運営がなされることになりますので、大きな変化です。ロータリアンが当番制ではなく、積極的にローターアクトの例会に参加して、アクトへの理解を深めてもらい、新たな出会いやアクト会員の紹介へと繋げていくというものです。

最後に、委員会とは関係ございませんが、10 周年記念式典、祝賀会が成功裏に終わりました。これは、会長、幹事、特別委員長、はじめ皆様の結束力の賜物かと存じます。私もその末席に加えて頂き、光栄でした。一年間、ありがとうございました。